要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

<u>※次の各表における耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの建築物も、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれは</u>ない。

※「耐震改修等の予定」欄には、「大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」(末尾の附表の区分Ⅲ)と評価される場合には、耐震改修等の必要がないことから「一」を、それ以外の場合であっても、耐震改修等の予定がある場合はその内容を記載している。

N.	Z井 笠 Han ① 友 升r	建築物の	建築物の	計電沙岻の十汁の夕升	構造耐力上主要な部への地震に対する方	耐急	震改修等の予定	 備考
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	
				一般財団法人日本建築防災協会に				
1	姫路市立	姫路市砥堀	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23	_	_	
1	砥堀小学校	1240 番地 3	小子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.30$			
				2 次診断法」(1990 年版)				
		 姫路市西中		一般財団法人日本建築防災協会に				
2	姫路市立	島 382 番地	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
	水上小学校	西 JOZ 雷地	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.54$			
				2 次診断法」(1990 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.42	_	_	
		 姫路市伊伝		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.31$			
3	姫路市立	居 600 番地	小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
	城北小学校	百000 雷地	7.子仅	一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.30	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.83$			
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT	7-12 1-12 1-14 1-15 1-15 1-15 1-15 1-15 1-15 1-15	建築物の	建築物の	工産シルのナルのない	構造耐力上主要な部	耐复	長改修等の予定	/#: / .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
4	姫路市立 広峰小学校	姫路市峰南 町2番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第	$Is/Iso = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	_	_	
	姫路市立	姫路市坊主	1 2444	2 次診断法」(1990 年版) -般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」(1990 年版)	$Is/Iso = 1.24$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	_	_	
5	野里小学校	町3番地1	:地 1 小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 1.22$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	_	_	
	姫路市立	姫路市新在	1. 2444	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$Is/Iso = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.33$	_	_	
6	城西小学校	家二丁目4番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.41$	_	_	

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	子汉 (小子汉、十子).	建築物の	建築物の	コモシェッナン カカナ	構造耐力上主要な部	耐急	 	/ 世 北
No.	姫路市立 安室東小学校 姫路市立 高岡小学校	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.35			
		 姫路市田寺		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.81$	_	_	
7	姫路市立	東二丁目 5	小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
'	安室東小学校	^宋 一」日 3 番 1 号	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		备 I 万		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.32	_	_	
					築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	_	_
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市西今		一般財団法人日本建築防災協会に				
8	姫路市立	堀崎川四分 宿四丁目 8	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25			
0	高岡小学校	14四 J F 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.50$	_	_	
		留 1 ク		2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市上手		一般財団法人日本建築防災協会に				
9	姫路市立		小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
9	高岡西小学校	對1番地1	八子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
10	姫路市立	姫路市本町	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
10	白鷺小学校	68 番地 52	小学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	_	_	
		00 街地 92		2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT	7-12 1/25 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	建築物の	建築物の	工産シルのナルのない	構造耐力上主要な部	耐复	喜改修等の予定	/#: / .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
11	姫路市立	姫路市打越	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
11	峰相小学校	582 番地	八子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.53$	_	_	
12	姫路市立	姫路市飾西	小学长	2 次診断法」(1990 年版)				
14	白鳥小学校	341 番地	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23		美施時期 — — — — — — — — — — — — —	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
		4E 19 1 1 1 1		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.51$	_		
10	姫路市立	姫路市市之	1. 254 7.	2 次診断法」(1990 年版)				
13	東小学校	郷町二丁目	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		34 番地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT	74 15 140 0 17 140	建築物の	建築物の	工序外区の十次のない	構造耐力上主要な部	耐急	喜改修等の予定	/#: 1/ .
No.	姫路市立 城東小学校 姫路市立 船場小学校	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
		 姫路市城東		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.32$		_	
14	姫路市立	^{畑崎田城東} 町竹之門 1	小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
14	城東小学校	番地	小子仅	一般財団法人日本建築防災協会に				
		省地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.31$			
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23	_	_	
		 姫路市東雲		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.45$	_	_	
15	姫路市立	町一丁目 29	小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
10	船場小学校	番	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		一		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.73			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.38$		_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
16	姫路市立	姫路市延末	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27			
10	手柄小学校	148 番地 2	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.32$	_ 		
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT	74 100 110 0 17 110	建築物の	建築物の	工序分MCの十分のない	構造耐力上主要な部	耐急	 袁改修等の予定	/#: 1/ .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
17	姫路市立 糸引小学校	姫路市東山 114番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$Is/Iso = 1.22$ $C_T \cdot S_D = 0.53$	I	_	
18	姫路市立 城陽小学校	姫路市北条 923番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(1990年版) 一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.80$ $C_T \cdot S_D = 0.65$ $Is/Iso = 1.22$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.31$	_	_	
19	姫路市立 荒川小学校	姫路市井ノ 口 49 番地 1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(1990年版) 一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.31$ $Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	_	_	

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT.	7+1 555 Hbm (1) 57 Fb.	建築物の	建築物の	司電沙吹の十 沙の女が	構造耐力上主要な部	耐急	震改修等の予定	/
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
20	姫路市立 白浜小学校	姫路市白浜 町甲 458 番 地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30$	-	_	
21	姫路市立 妻鹿小学校	姫路市飾磨 区妻鹿 786 番地 3	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(1990年版)	$Is/Iso = 1.22$ $C_T \cdot S_D = 0.34$	_	_	
	姫路市立	姫路市飾磨		一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(1990年版)	$Is/Iso = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.55$	_	_	
22	高浜小学校	区阿成鹿古 250番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	_	_	
23	姫路市立 津田小学校	姫路市飾磨 区今在家三 丁目 233 番 地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 1.22$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.42$	I	_	

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	一种的地面有些	建築物の	建築物の	工序外区の七次のない	構造耐力上主要な部への場合を	耐急	 	/#: 1/ .	
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考	
				一般財団法人日本建築防災協会に					
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25				
		 姫路市飾磨		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.31$	_	_		
24	姫路市立		小学校	2 次診断法」(1990 年版)					
24	飾磨小学校		小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に					
		台 坦 		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22				
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.33	_	_		
				2 次診断法」(2001 年版)					
		 姫路市広畑		一般財団法人日本建築防災協会に					
0.5	姫路市立		1. 254 7.	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20				
25	広畑小学校	区清水町一	小学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D = 0.31	_	_		
		丁目 47 番地		2 次診断法」(2001 年版)					
				一般財団法人日本建築防災協会に					
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27				
		姫路市飾磨		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.39$	_	_		
0.0	姫路市立	区英賀清水	1. 254 7.	2 次診断法」(1990 年版)					
26	英賀保小学校	町二丁目 76	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に					
		番地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22				
		H/U	田地		築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D = 0.37	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)					

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	子汉(小子汉、十子)。 净给恤の女孙	建築物の	建築物の	コモシェッナン カカナ	構造耐力上主要な部	耐急	 	/ #: +/ .
No.	姫路市立 八幡小学校 姫路市立 勝原小学校 姫路市立 大津茂小学校	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.28			
		 姫路市広畑		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.30$	_	_	
27	姫路市立		小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
21	八幡小学校	1400 番地 24	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		1400		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
					築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.40$	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市勝原		一般財団法人日本建築防災協会に				
28	姫路市立		小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
40	勝原小学校	达 1 755 番 地 3	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.45$	_	_	
		地 3		2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市網干		一般財団法人日本建築防災協会に				
29	姫路市立		小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
29	大津茂小学校	C田升 22 番 地	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.34$	_	_	
		기 <u>년</u>		2 次診断法」(1990 年版)				
		 姫路市豊富		一般財団法人日本建築防災協会に				
30	姫路市立		小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
30	豊富小学校	町 御陰 925 番地	小子似	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	_	_	
		省地		2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

N	74 15 16 0 5 14	建築物の	建築物の	工序外区の十次のない	構造耐力上主要な部	耐急	喜改修等の予定	備考
No.	姫路市立 大津小学校 姫路市立 城路市立 網干小学校	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	1個 右
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
		 姫路市大津		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.31$		_	
31	姫路市立	区天満 1001	小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
91	大津小学校	番地 4	小子仅	一般財団法人日本建築防災協会に				
		● 単 4 		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.37		_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
		 姫路市網干		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.31$	_	_	
32	姫路市立		小学校	2 次診断法」(1990 年版)				
32	網干小学校	897番地1	小子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		091 盆地 1		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.30			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.38$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市網干		一般財団法人日本建築防災協会に				
33	姫路市立		小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.21	_		
33	網干西小学校	达洪田 24 番 地	小子仪	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.30$	_		
		- ^{기반}		2 次診断法」(1990 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT	74 100 1100 00 17 110	建築物の	建築物の	工序外区の十次のない	構造耐力上主要な部	耐急	 長改修等の予定	/#: 1/ .	
No.	4 姬路市立 旭陽小学校 如 西	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考	
				一般財団法人日本建築防災協会に					
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20				
		 姫路市網干		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.30$		_		
34	姫路市立	区坂上 425	小学校	2 次診断法」(1990 年版)					
04	旭陽小学校		小子仅	一般財団法人日本建築防災協会に					
		街地 I		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.78	_			
					築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.64			
				2 次診断法」(2001 年版)					
		 姫路市飾東		一般財団法人日本建築防災協会に					
35	姫路市立	町豊国 560	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_		
39	谷外小学校	番地	八子汉	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.33$				
		省地		2 次診断法」(1990 年版)					
		 姫路市花田		一般財団法人日本建築防災協会に					
36	姫路市立	町勅旨 264	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_		
30	花田小学校	番地 2	7、子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.38				
		110000		2 次診断法」(2001 年版)					
		 姫路市四郷		一般財団法人日本建築防災協会に					
37	姫路市立	町坂元 227	小学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.30	_	_		
31	四郷小学校	番地	777代	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.36$				
		11世		2 次診断法」(1990 年版)					

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	7. 10 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1	建築物の	建築物の	エモシMCの十分のない	構造耐力上主要な部	耐急	 袁改修等の予定	/#: 1 /.
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
38	姫路市立 大塩小学校	姫路市大塩 町汐咲二丁 目 19 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.40$	_	_	
39	姫路市立	姫路市御国	1, 2444	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(1990年版)	$Is/Iso = 1.27$ $C_T \cdot S_D = 0.45$	_	_	
39	御国野小学校	打叫仰有 1049番地3	·町御着 小学校 049番地3	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	l	_	
40	姫路市立 中寺小学校	姫路市香寺 町中寺 231 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$	-	_	
41	姫路市立 増位中学校	姫路市増位 新町二丁目4 番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.32$	_	_	

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	一种的地面和	建築物の	建築物の	工序公区の七次のない	構造耐力上主要な部	耐急	 	/#: 1/ .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
42	姫路市立	姫路市南八	中学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
1-2	城乾中学校	代町6番1号	1 1 1	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.37$			
				2 次診断法」(1990 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 2.50$	_	_	
43	姫路市立	姫路市峰南	山兴长	2 次診断法」(1990 年版)				
43	広嶺中学校	町2番43号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.40	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		4mm/2 + m +.		一般財団法人日本建築防災協会に				
	姫路市立	姫路市田寺	H- 224-F-	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
44	安室中学校	東二丁目 6	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.31$	_	_	
		番1号		2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
1	姫路市立	姫路市国府	++ 572 F *-	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
45	東光中学校	寺町 80 番地	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.46$	_	_	
				2 次診断法」(1990 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	/	建築物の	建築物の	司電沙吹の十 連の女が	構造耐力上主要な部	耐急	喜改修等の予定	/ 世 士
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.43			
		4年12月11日		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.39$	_	_	
46	姫路市立	世路市山吹 一丁目4番	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
46	高丘中学校	13号	中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
		13 万		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.55$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に			_	
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27	_		
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.47$			
47	姫路市立	姫路市飾西	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
41	大白書中学校	652 番地	中子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.72$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
48	姫路市立	姫路市本町	由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23	_	_	
40		68 番地 52	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.58$	—	_	
		00 田紀 02		2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

NT.	子汉(小子汉、十子)。 净给恤の女孙	建築物の	建築物の	A. 電影座の七次のなむ	構造耐力上主要な部	耐急	 	/ #: +/ .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.30	_	_	
		 姫路市山畑		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.78$			
49	姫路市立	新田 525 番	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
49	琴陵中学校	利田 929 雷	下子仅	一般財団法人日本建築防災協会に				
		그년		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.73$			
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市飾磨		一般財団法人日本建築防災協会に				
50	姫路市立	区細江 206	中学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.30	_	_	
30	飾磨中部中学校		十子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.33$	_	_	
		省 地		2 次診断法」(1990 年版)				
		 姫路市広畑		一般財団法人日本建築防災協会に				
51	姫路市立	区才 226 番	中学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27	_	_	
91	夢前中学校	地1	下 子仅	築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.34			
		가면 1		2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市豊富		一般財団法人日本建築防災協会に				
52	姫路市立		由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20	_	_	
02	豊富中学校	町御蔭 944 番地	│ 中学校 │	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.44$		_	
	1 4 12			2 次診断法」(1990 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

		建築物の	建築物の	工序外区の七次の互集	構造耐力上主要な部	耐急	長改修等の予定	/#: 1/ .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.28			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.31$	_	_	
53	姫路市立	姫路市延末	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
95	山陽中学校	103番地1	中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20			
		 姫路市白浜		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.35$	_	_	
54	姫路市立		中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
04	灘中学校		中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
		日 33 街地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		左		一般財団法人日本建築防災協会に				
55	姫路市立		由学坛	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.28		_	
၁၁	四郷中学校	町坂元 345 番地 2		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.57$	_		
				2 次診断法」(1990 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

		建築物の	建築物の	工序外区の七次のない	構造耐力上主要な部への場合を	耐震	 	/#: 1/ .
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20			
		 姫路市飾磨		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.32$	_	_	
56	姫路市立	区三和町 26	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
96	飾磨東中学校		中子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		台 坦 		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} $\cdot S_D = 0.45$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23			
		 姫路市飾磨		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.33$	_	_	
57	姫路市立		中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
01	飾磨西中学校	93番地	中子仪	一般財団法人日本建築防災協会に				
		39 街地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} $\cdot S_D = 0.55$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市別所		一般財団法人日本建築防災協会に				
58	姫路市立		由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27	_	_	
90	東中学校	町別所五丁目30番地2	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.36$	_	_	
				2 次診断法」(1990 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	在	建築物の	建築物の	コモシェッナン カカナ	構造耐力上主要な部	耐急	 	/
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27			
		姫路市広畑		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.43$	_	_	
59	姫路市立		中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
99	広畑中学校	丁目83番地	中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
		1日09 街地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.25	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.80		_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
		 姫路市網干		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.39$	_		
60	姫路市立	区新在家	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
00	網干中学校	1320 番地 4	十十汉	一般財団法人日本建築防災協会に				
		1520 雷地 4		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.45$			
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市林田		一般財団法人日本建築防災協会に				
61	姫路市立		由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.21	_	_	
01	林田中学校	町林田 33番 地	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	C_{TU} · S_D =0.30			
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

	子汉 (小子汉、十子).	建築物の	建築物の	コモシェッナン カカナ	構造耐力上主要な部	耐急	 	/
No.	建築物の名称	位置	用途	耐震診断の方法の名称	分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	備考
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.28			
		 姫路市網干		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.40$	_	_	
62	姫路市立	灰崎川栖十 区坂出1番	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
02	朝日中学校	达 级山 I 番	中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
		1년 I		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.20			
		 姫路市飾東		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.30$	_		
63	姫路市立	一	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
00	城山中学校	型型 1103 番地 5	十子仅	一般財団法人日本建築防災協会に				
		街地 9		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.33	_	_	
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.30$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市大塩		一般財団法人日本建築防災協会に				
64	姫路市立		由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.23	_	_	
04	大的中学校	町 2213 番地 2	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.39$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

No.	建築物の名称	建築物の	建築物の	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐急	 震改修等の予定	備考
NO.	建架初 切石桥	位置	用途	間反め関ツガムツ石が	全性の評価の結果	内容	実施時期	湘石
				一般財団法人日本建築防災協会に				
				よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.27			
		無敗去 世田		築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.32$	_	_	
65	姫路市立	姫路市花田 町小川 1246	中学校	2 次診断法」(1990 年版)				
69	花田中学校	門 小 川 1246 番地 1	中子仪 	一般財団法人日本建築防災協会に				
		街地 I		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.22			
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	_		
				2 次診断法」(2001 年版)				
		 姫路市香寺		一般財団法人日本建築防災協会に				
66	姫路市立	町岩部 293	中学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.28			
00	香寺中学校	四石市 293 番地	中子仪 	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 1.13$	_	_	
		省 地		2 次診断法」(2001 年版)				
				一般財団法人日本建築防災協会に				
67	賢明女子学院	姫路市本町	由学校	よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.0		_	
01		68	中学校	築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	_	_	
				2 次診断法」(2001 年版)				

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果(姫路市が所管するもの)

■学校(小学校、中学校、特別支援学校)

No.	建築物の名称		建築物の 耐震診断の方法の名称 分の	構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐震改修等の予定		備考	
110.	産業物の利利	位置			全性の評価の結果	内容	実施時期	NHI 2
68	鉄筋コ ンクリ 姫路聴覚 ート造 特別支援 の建物	姫路市本町	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso\!=\!1.26$ $C_{TU}\!\cdot\!S_D\!=\!0.45$	-	_	
	学校 鉄骨造 の建物			一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄骨造建築物の耐震診 断指針」(1996 年版)	Is = 0.83 $q = 1.26$	-	_	

■体育館

No.	建築物の名称		建築物の		構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐震改修等の予定		備考
No.	建架初 切名称	位置	用途		全性の評価の結果	内容	実施時期	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
				一般財団法人日本建築防災協会に				
1	姫路市立	姫路市中地	体育館	よる「既存鉄骨鉄筋コンクリート	Is/Iso=1.27	_	_	U=1.25
1	総合スポーツ会館	453 番地		造建築物の耐震診断基準」に定め	$C_T \cdot S_D = 0.39$			0-1.20
				る「第2次診断法」(1997年版)				

令和5年4月1日 姫路市都市局 まちづくり部建築指導課

■病院、診療所

NI.	Z+给Mmの	力升	建築物の	建築物の	副電急艦の十 連の女狂	構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐急	震改修等の予定	備考
No.	建築物の	'名你	位置	用途	耐震診断の方法の名称	全性の評価の結果	内容	実施時期	佣名
	/r* 0.62 /r*	本館北棟			一般財団法人日本建築防災協会に	$Is/Iso = 0.27$ $C_T \cdot S_D = 0.26$			令和 4 年
1	姫路循環 器病セン ター	本館 中央棟	姫路市西庄 甲 520-2	病院	よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第	$Is/Iso = 0.34$ $C_T \cdot S_D = 0.33$			度に新病 院へ移転
		本館 南棟			3 次診断法」(1990 年版)	$Is/Iso = 0.91$ $C_T \cdot S_D = 0.82$			
		マリア 館				$Is/Iso=1.0$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.62$	_	_	
	姫路聖マ	エマオ 館	姫路市仁豊	η ⊏ 17ρ	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建	$Is/Iso = 1.05$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.67$	-	_	
2	リア病院	旧修道 院	野 650	0 病院	築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.63$	_	_	
		聖堂				$Is/Iso = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$	_	_	

令和5年4月1日 姫路市都市局 まちづくり部建築指導課

■劇場、観覧場、映画館、演芸場

N	。 建筑版	建築物の名称	建築物の 位置 用途		構造耐力上主要な部 分の地震に対する安 -	耐震改修等の予定		備考	
No.	0.			用途		全性の評価の結果	内容	実施時期	1)用 45
	姫路競馬場	易	姫路市広峰 2丁目7番 80号	観覧場	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2次診断法」(2001年版)	$Is/Iso = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.82$	I	_	

■集会場、公会堂

No.	建築物の名称	建築物の	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐震改修等の予定		備考
No.		位置			全性の評価の結果	内容	実施時期	加州石
		 姫路市西延		一般財団法人日本建築防災協会に				
1	姫路市文化センター	末 426 番地		よる「既存鉄筋コンクリート造建	Is/Iso=1.07	_	_	解体工事中
				築物の耐震診断基準」に定める「第	$C_T \cdot S_D = 0.80$			
				2 次診断法」(1990 年版)				
2	姫路市民会館	姫路市総社 路市民会館 本町 112 番	公会堂	指針第1第二号に定める建築物の 耐震診断の方法	Is=0.65		_	
						_		
		地			q = 1.98			

令和5年4月1日 姫路市都市局 まちづくり部建築指導課

■百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗

N.	建築物の名称		建築物の	建築物の	科電沙ᄣの七汁の女 称	構造耐力上主要な部	耐震改修等の予定		- 備考
No.			位置			分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	佣石
	姫路山陽 百貨店	1期~4期棟	姫路市南町 1番地	百貨店	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso = 0.38$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.3$			耐設 改施 つ 施 で 地 で 検討中
1		5 期棟 1, 2 階			一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄骨鉄筋コンクリート 造建築物の耐震診断基準」に定め る「第2次診断法」(2009年版)	$Is/Iso=1.45$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.37$	耐震改修	着手 未 定 完了 未 定	
		5 期棟 3~P2			一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄骨造建築物の耐震診 断指針」(2011 年版)	Is = 0.64 $q = 0.89$			
2	イオン姫路原		姫路市増位 本町 2-12-10	店舗	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$Is/Iso=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.60$	_		
3	姫路駅前ビノ	V	姫路市駅前 町 254 番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄骨鉄筋コンクリート 造建築物の耐震診断基準」に定め る「第3次診断法」(1997年版)	改修工事中	耐震改修	着手平成 18 年 11 月 完了 未 定	1,2 階の み耐震改 修工事済 み

令和5年4月1日 姫路市都市局 まちづくり部建築指導課

■ホテル、旅館

No.	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部への地震に対する方	耐震改修等の予定		備考
NO.						分の地震に対する安 全性の評価の結果	内容	実施時期	加州石
	姫路キャッスルグ	I期	姫路市三左	市三左	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄骨鉄筋コンクリート 造建築物の耐震診断基準」に定め る「第3次診断法」(1983年版)	Is/Iso=1.25	-	_	
1	ランヴィ リオホテ ル	Ⅱ期	衛門堀西の町 210	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$Is/Iso=1.3$ $C_T \cdot S_D = 2.6$	-	_	

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の 位置	建築物の 用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部 分の地震に対する安	耐震改修等の予定		- 備考
NO.					全性の評価の結果	内容	実施時期	が が が に に に に に に に に に に に に に
1	姫路総合庁舎 本館棟・別館棟	姫路市北条 1-98	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会に よる「既存鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第 3次診断法」(1990年版)	$Is/Iso = 1.00$ $C_T \cdot S_D = 0.50$	_	_	
2	姫路市庁舎 本館・東館	姫路市安田 四丁目1番 地	庁舎	指針第1第二号に定める建築物の 耐震診断の方法	Is=0.607 q=1.019	_	_	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

	耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性					
			I	П	Ш			
1-(2)	指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法		Is<0.3 又は q<0.5	左右以外の場合	0.6≦Is カンつ 1.0≦q			
2-(3-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造 診断指針」(1996 年版、2011 年版)	建築物の耐震	Is < 0.3	左右以外の場合	0.6≦Is カン 1.0≦q			
2-(5-2)	- 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」	Is/Iso<0.5 又は	左右以外の場合	1.0 \leq Is/Iso カッつ 0.3 \leq Cr·Sp \leq 1.25				
_ (0 _/	診断法」(1990 年版)), o	$C_T \cdot S_D < 0.15$		$1.25{<}C_T{\cdot}S_D$			
2-(5-3)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コ 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 診断法」(2001年版)		Is/Iso < 0.5	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Iso$ ガュつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$			
2-(5-4)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄 ト造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断 3次診断法」(1983年版)	Is/Iso < 0.5	左右以外の場合	1.0≦Is/Iso				
2-(5-5)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄 筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める	鉄骨が充腹 材の場合	$Is/Iso{<}0.5~oldsymbol{\mathcal{X}/\mathcal{X}}\ C_{T}{\cdot}S_{D}{<}0.125{\cdot}Z{\cdot}G{\cdot}U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Iso$ カッつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$			
2 (3 3)	「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が非充 腹材の場合	$Is/Iso{<}0.5~oldsymbol{\mathcal{I}}/oldsymbol{\mathcal{I}}\ C_T{\cdot}S_D{<}0.14{\cdot}Z{\cdot}G{\cdot}U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Iso$ カッつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$			
2-(5-6)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄 筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める		$Is/Iso{<}0.5~oldsymbol{\mathcal{I}}/oldsymbol{\mathcal{I}}\ C_{TU}{\cdot}S_{D}{<}0.125{\cdot}Z{\cdot}R~t~\cdot G{\cdot}U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Iso$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$			
2 (0 0)	「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が非充 腹材の場合	$Is/Iso < 0.5 oldsymbol{\mathcal{I}}/oldsymbol{\mathcal{I}} \ C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Iso$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$			

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Ⅱ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Ⅲ. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
- ※ 震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。
- ※表に掲げる補正係数 Z、Rt、G、Uについては、備考欄に記載のある場合を除き 1.0 である。